

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	05 住民主体の協働のまちづくり
	中項目	基本施策	02 ふれあい豊かなまちづくり
	小項目	施策	02 男女共同参画社会の形成
事務事業名			02 男女共同参画推進事業
根拠法令・例規等		男女共同参画社会基本法 備前市男女共同参画まちづくり条例	
問		担当課(室)	まちづくり推進課
合		職・氏名	参事 児島 まり子
先		電話	0869-64-1823
このシート作成に要した時間			7.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	市・市民・事業者
目的(何のために)	男女共同参画のまちづくりの推進に関し、様々な取り組みが行われているが、社会的につくられた性別の意識や、性別による固定的な役割分担に起因する課題は今なお存在している。市としては、男女共同参画のまちづくりを進めていくための具体的施策の方向を示す基本計画を定め、男女がともに支え合い、輝いて生きることができるよう男女共同参画のまちづくりを推進する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	男女共同参画社会の形成に当たっては、政策方針決定への女性の参画が促進されることが極めて重要である。基本計画において、政策、方針決定過程への女性の参画の拡大を重点目標の1つとしてあげており、平成23年度を目標とする市の審議会等委員の女性比率を30%以上とすること。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	男女共同参画推進事業	男女共同参画基本計画の施策を総合的かつ計画的に実施する。	
	男女共同参画基本計画策定事業	平成19年に5カ年計画で23年度を目標年度に策定した基本計画の変更、改訂をする。	
	市男女共同参画推進委員	情報誌の企画及び編集に関すること等の任務に携わり男女共同参画の施策を推進する。	
	市男女共同参画推進審議会	市長の諮問に応じ、市の男女共同参画のまちづくりの推進に関する重要な事項を調査審議する。	
	市男女共同参画推進連絡会	市男女共同参画推進本部の所掌事務に関する具体的事項について調査及び研究をする。	
	積極的改善措置	男女共同参画の施策の実施に当たって、参画の機会に係る男女間の格差の改善を図る。	

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		192	211	202
	必要人員(人件費)	千円	0.48人 4,774	0.58人 5,637	0.65人 6,428
	事業費計		4,966	5,848	6,630
	国県支出金				
	受益者負担				
	繰入金	千円			
	その他()				
一般財源		4,966	5,848	6,630	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	男女共同参画推進連絡会(開催数)	説明	連絡会委員(16名)による具体的事項についての調査、研究会		
	結果指標量	事業	3	1	1
	対前年比	%	-	33.3%	100.0%
	活動コスト	円	363,780	199,280	198,660
単位当たりコスト		121,260	199,280	198,660	

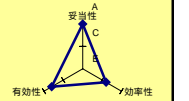
事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
審議会等委員の女性登用率	目標値(A)		27	28	29
	実績値(B)	26.3	25.4	26.5	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	94.07%	94.64%	30
成果指標設定の考え方・式や説明					
市町村の付属機関として設置された審議会等で委員総数の内女性委員数の割合(地方自治法第202条の3・・・普通地方公共団体の執行機関の付属機関は、法律もしくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより、その担任する事項について、調停、審査、審議、又は調査等を行う機関とする。)					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-E> B

留意事項の目的やその数値目標を達成するための結果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・廃止
説明	男女共同参画基本計画で目標設定している目標値に向かって引続き基本計画の施策を推進するとともに、市民の意識調査結果により、平成24年度以降の基本計画策定(改訂)の準備に取組む。					

総合評価	
平成23年度を目標年度とする5カ年計画「男女共同参画基本計画」に沿って、数値目標達成に向け、具体的施策の促進をした。	評価区分 <A-E> B



平成23年度の方針性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・廃止
取組目標	男女共同参画基本計画で目標設定している目標値に向かって引続き基本計画の施策を推進する。また、平成24年度以降の基本計画策定(改訂)に取組む。					